

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立八幡屋小学校

令和 8年 4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、全校児童数 188 名の小さな学校である。全学年が単学級で、年度替わりでのクラス替えはない。6年間同じ集団で過ごすことになる。児童数が少ないため、教職員全員で児童一人ひとりを把握することができる。教職員間の連携もできており、問題について組織的に対応を進めることができる。個々の課題はあるが、学校と保護者が連携して問題対応することができる。地域は大変協力的で、毎朝、見守り隊による集団登校見守り活動を実施していただいている。

学力に課題がみられる。「全国学力・学習状況調査」の国語科は、令和3年度から令和5年度まで全国平均、大阪市平均との差が10ポイント以上と大きかった。令和6年度から差が小さくなり、令和7年度は全国平均、大阪市平均を超えることができた。算数科では、全国平均、大阪市平均と差は、令和3年度は20ポイント、令和7は7ポイントで、差が縮まってきているが依然として差が大きい状況である。国語科では、読解力を高めるために、国語科の授業以外に、「読書活動」、「日誌指導」に取り組む。個々が主体的に読解力を高めるために、朝の学習時間に「読解力向上ドリル」に取り組む。「総合的読解力」の学習も年間計画に従って、毎週取り組む。さらに、全校児童が同一読解問題を自主的に解答する「きらめきアタック」に取り組む。語彙力・漢字力を高めるために2年から6年までの5学年で「漢字検定」に取り組む。算数科では、令和4年度から算数科の研究に取り組んでいる。今年度も研究教科を算数科に位置づけ、「確かな基礎・基本の学力に基づく「学びに向かう力」を高める指導法の工夫～子どもに「わかった」「できた」を実感させる授業づくり～」の研究に「ティーチング・エンパワーメント事業」で配置される「スクールアドバイザー」からの指導助言を受けながら取り組む。研究では、『学習課題を把握させるためのアプローチ①』『問題解決のイメージをもち、考えさせるためのアプローチ②』『「わかった」を実感させるためのアプローチ③』『「できた」ことを実感させるためのアプローチ④』を重点的に進める。単元末テストの結果は、ヒストグラムに表し、児童の実態と授業改善に取り組む。基礎・基本の定着については、個別指導の必要な児童対象に研究部が中心となって「放課後学習(YASS)」に取り組む。これらの取り組みを通して、学力の向上を目指す。

「令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果は大変よいものとなった。男子では、「長座体前屈」「20mシャトルラン」で全国平均、大阪市平均に若干達しなかったものの、その他の種目や体力合計点では全国平均、大阪市平均を上回ることができた。女子では、「長座体前屈」のみが全国平均、大阪市平均に達しなかったものの、それ以外の種目や体力合計点では全国平均、大阪市平均を上回ることができた。全校で実施する「なわとびタイム」「かけあしタイム」、中学校、近隣小学校と合同で実施する「駅伝大会」、放課後に実施する「小体連バスケットボール」など、これからも楽しみながら運動に取り組む活動を実施し、運動能力、体力の向上を目指す。

本校は、令和11年度に近隣の港晴小学校、池島小学校と統合し、新学校としてスタートする。統合に向けて、令和8年度から令和10年度にかけて、新校舎を建設する。これからの3年間は、教育活動をより高めていくとともに、統合に向けて、3校合同で取り組みを進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

令和10年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

令和10年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和10年度の小学校学力経年調査における、国語科、算数科の平均正答率を3ポイント向上させる。

令和10年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

令和10年度の小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を95%以上にする。

令和10年度の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を95%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。

年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立八幡屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育活動の推進】 子ども同士の褒めあい、互いに認め合う学級集団を育成する。 子どもの頑張りを認め、「ほめる」を大切にした教育実践を推進する。	
指標 学校アンケート「学校に行くのは楽しい」「学校の先生は、一人ひとりのよさをわかってくれている」「学校の先生は、こまったときに助けてくれる」の項目の肯定的な回答の割合をそれぞれ90%以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育活動の推進】 児童会活動を通して、学期ごとに「あいさつキャンペーン」や「右側通行キャンペーン」を1回ずつ行っていく。	
指標 学校アンケート「きまりやルールをまもっている」の項目の肯定的な回答の割合を90%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育活動の推進】 避難訓練等を年に3回、引き渡し訓練を年に1回実施する。 防災・減災教育を通じて、安全・安心な教育活動を目指す。	
指標 学校アンケート「災害が起こった時にすることがわかっている」の項目の肯定的な回答の割合を90%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立八幡屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント向上させる。</p> <p>小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎・基本の学力に基づく「学びに向かう力」を高める指導法を工夫する。</p> <p>子どもの「わかった」「できた」を実感させるための授業づくりを探求する。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケート「授業はよくわかる。」の項目の肯定的な回答の割合を 90%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体全体を動かす【体づくり運動】を年間を通じて取り入れ、基礎的な体の動かし方を体得させるように授業内容を工夫し、児童が楽しく運動する習慣を身につけさせる。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケート「運動(体を動かす遊びも含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目の肯定的な回答の割合を 90%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>1・2学期に2回、3学期に1回、歯と口の健康週間を設定し、給食後の歯みがきに取り組むとともに、朝と夜の歯みがきについてもアンケート調査を行うことで意識付けを図る。また、保健指導や保健だよりを活用した指導を行うことで、望まし生活習慣の形成を目指す。</p>	
<p>指標</p> <p>歯と口の健康カードの「給食のあと、歯みがきをしましたか」「朝と夜ねる前、歯みがきをしましたか」の項目の肯定的な回答の割合を 80%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立八幡屋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p>1か月あたりの平均時間外勤務時間が月30時間以下の教員の割合を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>協働学習支援ツールを用いた学習を通して、学びに向かう力を身につける。</p> <p>タイピングカリキュラム等を作成してPCのタイピング能力を高められるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>各学年の全国統一タイピングカテストの中央値を超える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>学校アンケート「タブレットを使った授業は好きである」の項目の肯定的な回答の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、冬季休業期間においては1日以上設定する。</p> <p>ゆとりの日には会議等を設定せずに、17時退勤を目標とする。</p>	
<p>指標</p> <p>1か月あたりの平均時間外勤務時間が月30時間以下の教員の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>読書カードを活用し、年間を通して読書活動の見える化と継続的な動機付けを図る。</p> <p>児童が読書によってポイントを積み重ねていく仕組みを導入することで、読書量の増加を促すとともに、達成感や意欲の向上につなげる。これにより、読書に親しみをもち進んで本に触れる児童の育成を目指す。</p>	
<p>指標</p> <p>学校アンケート「読書は好きである」の項目の肯定的な回答の割合を70%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点